

## 令和3年度第1回鶴岡市介護保険運営協議会議事録（概要）

- 日 時 令和4年1月25日（火）午後1時00分～午後1時50分  
新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じweb参加も可能とした
- 会 場 鶴岡市役所別棟2号館 21～23号会議室
- 出席委員（敬称略）  
小林達夫、齋藤邦夫、屋代高志、福原晶子、吉野進、鎌田剛、中嶋悦、三浦瞬、
- Web参加委員（敬称略）  
清野肇、長澤祐子、秋庭知典
- 欠席委員（敬称略）  
佐藤豊継、深澤一雄、伊藤貫正、
- 市側出席者 健康福祉部参事兼長寿介護課長 天然せつ、長寿介護課課長補佐 五十嵐龍子、  
同課主査 石井美喜、上林一志、同課高齢者支援専門員 野尻文栄、大川美紀子  
同課主任 高橋宏知、同課主事 工藤徳将、  
地域包括ケア推進室長 佐藤清一、同室主査 佐藤正  
藤島庁舎市民福祉課長 長谷川郁子、羽黒庁舎市民福祉課長 佐藤美香、  
櫛引庁舎市民福祉課長 前田郷子、朝日庁舎市民福祉課長 小野寺智子、  
温海庁舎市民福祉課長 加藤早苗
- 公開・非公開の別 公開
- 傍聴者の人数 0人

- 次 第 鶴岡市介護保険運営協議会
1. 開会
  2. 挨拶 健康福祉部長
  3. 交代委員紹介
  4. 報告・協議
    - (1)介護保険の運営状況について
    - (2)第7期介護保険事業計画における自立支援・重度化防止等への取組みの進捗状況について
    - (3)地域支援事業の実施状況について
      - ①介護予防・日常生活支援総合事業
      - ②生活支援体制整備事業
    - (4)保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努力支援交付金について
  5. その他
  6. 閉会

### ○報告・協議内容（議長：福原晶子会長）

#### 4. 【報告】(1)～(4)一括報告

- (1) 介護保険の運営状況について【資料1】（説明：長寿介護課主事 工藤徳将）
- (2) 第7期介護保険事業計画における自立支援・重度化防止等への取組みの進捗状況について【資料2】  
（説明：長寿介護課主査 上林一志）
- (3) 地域支援事業の実施状況について
  - ①介護予防・日常生活支援総合事業【資料3】（説明：長寿介護課主査 石井美喜）
  - ②生活支援体制整備事業【資料4】（説明：地域包括ケア推進室主査 佐藤正）
- (4) 保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努力支援交付金について【資料5】  
（説明：長寿介護課課長補佐 五十嵐龍子）

#### 【質問・意見等】

- [議長] 資料4について、担い手養成研修を開催しているということですが、受講している方の年代はどの年齢層の方が多く受講していますか。
- [事務局] 参加している方の動機としては、地域で通いの場を立ち上げたい、自分の勉強の為に研修を

受けたい等です。年代層は、退職した後の60代以降の方が7～8割を占めています。20代～30代女性の方は1回につき3～4名参加しています。

**【議長】** 地域の方々が担い手となって支えていくという地域包括ケアの考え方からいくと、退職されたばかりで、体力的・経済的にも余裕がある方が主体となって、地域の介護や支援も含めて力を出してくださるのは重要なことだと思います。こういうところに多くの方が参加して欲しいと思います。

**【委員】** 資料2 8ページの支援困難ケースと、地域課題に関するケースについてはどのように違うのか、違いを教えてください。

**【事務局】** 地域ケア個別会議において、個別ケースの検討を通じて地域課題の抽出を行う必要がありますが、実際には個別ケースの支援方針の検討のみにとどまり、地域課題の抽出までに至っていない場合があります。この解決に向け、同会議においては地域課題の抽出まで行うよう促すことを対応として取り組んでおります。

**【委員】** 支援困難ケースは解決すべき問題の方で、地域課題は話し合うべきテーマという分け方のことでしょうか。現場の人達にとっては支援困難ケースと地域課題のケースとの違いが分かりにくいのではないかと思います。具体的な例示があると分かりやすいのではないかと考えます。

## 5. その他

特になし